株主優待制度のご案内

毎年３月31日及び９月30日の最終の株主名簿及び実質株主名簿に記載された1,000株以上ご所有の株主の皆様に対して、そのご所有株式数に応じて次のとおり株主優待パス（定期券式）または株主優待乗車証（回数券式）をお送りいたします。

１．優待の種類

⑴株主優待パス（定期券式）

①電車・自動車共通全線パス

・有効期間中何度でもご乗車いただけます。
・記名ご本人様以外の方もご利用いただけます。（一枚でお一人様有効です）
・新京成電鉄電車全線と船橋新京成バス・習志野新京成バス・松戸新京成バスの各路線でご利用いただけます。
・深夜バスご利用の際には割増し分の運賃をお支払いいただきます。

②電車全線パス

・有効期間中何度でもご乗車いただけます。
・記名ご本人様以外の方もご利用いただけます。（一枚でお一人様有効です）
・新京成電鉄電車全線でご利用いただけます。
・バスのご乗車はできません。

⑵株主優待乗車証（回数券式）

・有効期間中新京成電鉄の電車に１枚でお一人様１回（片道）ご乗車いただけます。
・新京成電鉄電車全線でご利用いただけます。
・バスのご乗車はできません。

２．発行基準

ご所有株式数	株主優待パス（定期券式）		株主優待乗車証（回数券式）
	電車・自動車共通全線パス	電車全線パス	
1,000株以上 5,000株未満	－	－	５枚
5,000株以上10,000株未満	－	－	15枚
10,000株以上15,000株未満	－	－	30枚
15,000株以上21,000株未満	－	－	45枚
21,000株以上39,000株未満	－	１枚	－
39,000株以上	１枚	－	－

３．発行基準日、発行日及び有効期間

対　象	発送時期	有効期間
３月31日現在の株主様	６月中旬	７月１日～12月31日
９月30日現在の株主様	12月中旬	１月１日～６月30日

新京成電鉄株式会社
〒273－0192
千葉県鎌ケ谷市くぬぎ山四丁目１番12号
電話 047－389－1111
http://www.shinkeisei.co.jp/

▲携帯ホームページへ簡単アクセス

【表紙写真】
初夏の空の下、強風時の安全運行確保のため風速計（写真左）を設置した滝台橋梁（薬園台～前原）を疾走するN800形車両

第90期報告書

【平成19年4月1日から平成20年3月31日まで】

Shin-Keisei Electric Railway Co.,Ltd.

SHIN-KEISEI

CONTENTS

株主の皆様へ …… 1
新京成グループの概要 …… 3
事業の概況 …… 4
　運輸業 …… 4
　不動産業 …… 8
　その他の事業 …… 9
連結決算報告 …… 10
決算報告 …… 13
　鉄道事業輸送実績 …… 14
新京成グループTOPICS …… 15
会社の概要 …… 16
　会社概況 …… 16
　役員 …… 16
　株式の状況 …… 16
　営業路線図 …… 17
　株主メモ …… 18
　株主の皆様へのお知らせ …… 18
　株主優待制度のご案内 …… 19

株主の皆様へ

当期純利益10億４千万円を計上

株主の皆様におかれましては、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。日頃は、新京成電鉄グループに対するご愛顧を賜り、厚く御礼を申し上げます。

第90期報告書をお届けするにあたりまして、ひとことご挨拶を申し上げます。

当連結会計年度におけるわが国経済は、個人消費が底堅く推移するとともに、民間設備投資の増加基調や雇用情勢の改善傾向など、景気は概ね緩やかな回復基調で推移いたしましたものの、原油価格の高騰や急速な円高の進行などにより、先行きの不透明感が強まりました。

このような状況のもとで、当社グループは全事業にわたり積極的な営業活動を行うとともに経営基盤の強化並びに効率化に努めましたが、全事業営業収益は199億8,434万円、前期に比べ1.3％（２億6,143万円）の減収、全事業営業利益は24億6,967万円、前期に比べ1.6％（3,988万円）の減益、経常利益は対前期比4.7％減の21億9,039万円、当期純利益は対前期比19.1％減の10億4,507万円となりました。

また、配当につきましては、経営基盤の強化安定を図るとともに、安全輸送の確保や旅客サービス向上等の設備投資及び将来にわたる企業体質強化のための原資となる内部留保資金の確保等を勘案しながら、株主の皆様に安定的かつ継続的に利益還元していくことを基本方針としていることから、利益配当及び中間配当とも１株につき２円50銭（年５円）を継続しております。

従いまして、この基本方針に基づき、当期の期末配当につきましても１株につき２円50銭とさせていただきました。

なお、すでに中間配当金として２円50銭をお支払いしておりますので、当期の年間配当金は１株につき５円となりました。

今後も沿線価値向上に努めます

今後の当社グループを取り巻く事業環境は、雇用形態の多様化や沿線の少子・高齢化が一段と進み旅客需要の減少が見込まれるなど、厳しい状況が予想されます。

このような状況を踏まえ、運輸業においては、お客様に安心かつ快適にご利用いただけますよう、引き続き安全管理体制を維持・強化するとともに、安全確保並びにバリアフリー化に向けた諸施設の整備・改善を積極的に推進いたします。鉄道事業では、より一層の旅客サービスの向上に取り組みつつ旅客誘致に努めるほか、常に業務体制の見直しを図るなど経営の効率化をすすめてまいります。また、自動車事業では、お客様の利便性向上を図るため、ICカード乗車券「PASMO」を平成20年度中に導入するほか、地域に密着したダイヤ改正に取り組むなど経営の効率化と旅客サービスの向上に努めてまいります。このほか、貸切・特定輸送では、企業・団体輸送等の受注活動を積極的に行い、稼働率を向上させ、業績の向上に取り組んでまいります。

不動産業においては、長期安定収入の増加を図るため、新鎌ヶ谷駅前土地などの社有資産の有効活用を推進し、不動産賃貸業の一層の拡充に努めるとともに、魅力ある賃貸物件を開発することにより、沿線価値の向上に取り組んでまいります。

また、当社グループは、株主の皆様をはじめとするステークホルダーからのさらなる信頼を得るため、当社及び当社グループ会社社員が守るべき具体的な事項を定めた「行動規準」の周知徹底を引き続き図るとともにコンプライアンス体制を充実させ、法令・社会規範の遵守並びに企業の社会的責任の遂行に取り組んでまいります。

以上のように、当社グループは一体となって積極的な営業活動を行い、業績の向上に努めるとともに、経営基盤の強化安定を図ってまいりますので、株主の皆様には今後ともなお一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

取締役社長　**片岡　遼一**

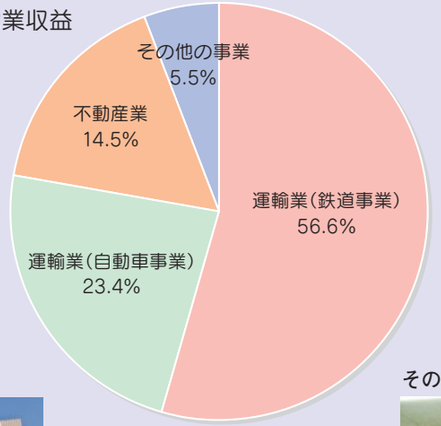
運輸業（鉄道事業）

新京成電鉄㈱

運輸業（自動車事業）

◎船橋新京成バス㈱
◎習志野新京成バス㈱
◎松戸新京成バス㈱

セグメント別営業収益
（平成19年度）



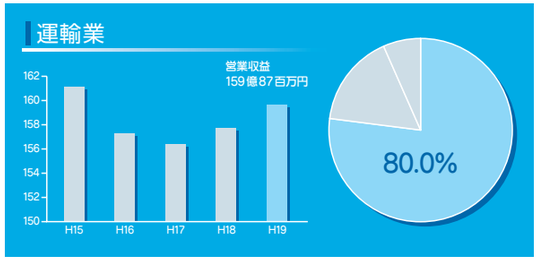
不動産業

新京成電鉄㈱
○新京成エステート㈱

その他の事業

◎スタシオン・セルビス㈱［駅売店・駅清掃業］
○エスケーサービス㈱［駐輪場管理業］
○エスピー産業㈱［駐車場管理業］
○新京成フロンティア企画㈱
［広告業、鉄道模型館の管理・運営等］
◇京成車両工業㈱［電車・自動車検修業］
◇京成建設㈱［建設業］

◎：連結子会社（4社）　◇：関連会社で持分法適用会社（2社）
○：非連結子会社で持分法非適用会社（4社）



３月に連絡定期券の発売範囲を拡大

鉄道事業では、くぬぎ山駅、新津田沼駅にエレベーター及び多機能トイレを設置するのにあわせ既設のトイレをリニューアルいたしましたほか、松戸新田駅に多機能トイレを設置するとともにスロープを整備いたしました。

◀駅施設のバリアフリー化の一環として新津田沼駅のコンコースにエレベーターを設置しました。

松戸新田駅には上りホームの京成津田沼側に改札口を新設するのにあわせ、スロープも設置し、お客様の利便性の向上とバリアフリー施設の充実を図りました。

また、車両２編成に車椅子スペース及び車内文字案内装置を設置するなど、諸施設のバリアフリー化に積極的に取り組みました。

旅客サービスにかかる一層の向上策といたしましては、輸送の効率化及び接続する他社線との乗り継ぎの改善を図るため平成19年12月２日にダイヤ修正を実施いたしましたほか、松戸新田駅上りホームに改札口を新設するとともに、みのり台駅ほか８駅の改札機をICカード乗車券「PASMO」対応型に代替いたしました。

▲より多くのお客様がスムーズに「PASMO」をご利用いただけるよう改札機の代替をすすめており、今後も順次実施していく予定です。

さらに、平成20年２月27日から京成カードでの定期券購入の取扱いを開始するとともに、同年３月15日から他社線との連絡定期券の発売範囲を拡大するなど利便性の向上を図りました。また、八柱駅、五香駅にお客様が心肺停止状態になった場合に備え、AED（自動体外式除細動器）を設置いたしました。

▲心肺停止状態になったお客様に救急措置が行えるようAEDの設置駅を増やしました。

なお、北習志野駅の改良工事につきましては、平成20年度中の竣工を目途に設計業務等の諸準備をすすめました。

このほか、高齢者やお身体の不自由なお客様が駅施設を快適にご利用いただけるよう駅係員の「サービス介助士」資格取得を引き続き推進いたしましたのをはじめ、さらなる接遇サービスの向上を図るため外部講師による駅係員の接客向上研修を継続実施するとともに、「京成グループBMK（ベストマナー向上）推進運動」に積極的に取り組みました。

◀BMK春の強調月間にあわせて開催された第20回新京成沿線健康ハイキングは、天候にも恵まれ約1,000名のお客様をお迎えし、新津田沼駅をスタートしました。参加された方々は思い思いのペースで逍遥を楽しみ、薫風を体いっぱいに感じながら、ゴールの幕張旧市街（秋葉神社・昆陽神社）をめざしました。

安全輸送確保の取り組みといたしましては、お客様がホームから転落した際の安全対策として、「非常通報ボタン」を上本郷駅ほか３駅のホームに新設いたしましたのをはじめ、踏切事故の防止を図るため、くぬぎ山２号踏切道及び五香４号踏切道の踏切障害物検知装置新設工事、八柱１号踏切道ほか４踏切道の踏切遮断機更新工事、八柱１号踏切道及び八柱２号踏切道の特殊信号発光機のLED（発光ダイオード）化工事を行いましたほか、車両５編成の戸閉保安装置更新工事、くぬぎ山駅継電連動装置更新工事、くぬぎ山駅構内及び前原駅構内の電車線支持物改良工事などを行いました。

▲ポイント及び車両基地への入出庫線があるくぬぎ山駅の信号保安を司る「継電連動装置」を更新し、安全輸送の確保に努めました。

このほか、気象庁の緊急地震速報を活用した「早期地震警報システム」を平成19年11月１日から導入するとともに、風速計の増設を行うなど安全面の向上を図りました。

◀気象庁からの緊急地震速報を列車無線により運行中の列車に音声で伝え停止させることで、災害時の運転事故を未然に防止するための「早期地震警報システム」を導入しました。

経営基盤の強化安定への取り組みといたしましては、沿線における少子高齢化の進展による旅客需要の減少傾向への対応策として、平成19年12月１日から松戸新田駅及び前原駅に録画機能付監視カメラ等による「遠隔監視システム」を導入し、駅業務の効率化を図りました。これに伴い、一部時間帯において駅係員を無配置といたしました。このほか、8000形車両１編成をVVVFインバーター化し、使用電力の軽減を図るとともにメンテナンス費用の削減に努めました。

8000形車両のVVVFインバーター化は、直流の電力を交流に変換することによりモーターと制御装置のメンテナンス作業が軽減されるため、その費用の削減と使用電力の軽減が図られます。

鎌ケ谷市内の連続立体交差化工事につきましては、引き続き完成に向けて工事をすすめております。

営業面につきましては、旅客誘致並びに増収対策として、新たに車両１編成にラッピング広告を行いましたほか、駅及び車内に沿線周辺の行楽施設や催事を紹介するポスターの掲出やハイキングコースを掲載したパンフレットの配布などを行い沿線をPRいたしました。また、「第24回全国都市緑化ふなばしフェア」の開催にあわせ、開催を周知するラッピング電車を運行するとともに、松戸駅ほか６駅に横断幕を、三咲駅にフラワーボックスをそれぞれ設置いたしました。

▲昨年度４回にわたり発行した「新京成のんびりおでかけ途中下車」は新京成沿線の見所などを写真とイラストを交えて楽しく紹介するとともに、ハイキングコースも掲載しておりますので是非ご利用ください。なお、このパンフレットは当社ホームページでもご覧いただけます。

10月２日から11月４日までの34日間、船橋市のアンデルセン公園で秋篠宮ご夫妻にもご来臨を賜り開催された「第24回全国都市緑化ふなばしフェア」に、より多くのお客様をお迎えするため、様々な周知活動に努めました。

新規路線開設に伴いバス５台を増車

自動車事業の一般乗合輸送においては、高齢者や車椅子を使用されるお客様に配慮し、大型ノンステップバス２両及び大型ワンステップバス27両を代替し、バリアフリー化に取り組みましたほか、新規路線の開設に伴い中型ノンステップバス２両及び大型ワンステップバス３両を増車いたしました。

▲排出ガスを抑制させることなどを定めたNOx・PM法に対応するため、大型ワンステップバスを代替しました。

旅客サービスにかかる一層の向上策といたしましては、船橋新京成バス株式会社において平成19年11月３日からパークサイド鎌ヶ谷線（鎌ヶ谷駅～パークサイド鎌ヶ谷循環）、同年12月16日から新鎌ヶ谷線（鎌ヶ谷大仏～鎌ヶ谷総合病院）の運行をそれぞれ開始いたしましたのをはじめ、東葉高速線飯山満駅まで芝山線を路線延長いたしましたほか、金杉台線の医療センター～北谷津川間に停留所を新設するとともに、西白井線、鎌ヶ谷グリーンハイツ線で接続する鉄道の発着時刻の変更に対応するため、ダイヤ改正を行うなど利便性の向上を図りました。

▲パークサイド鎌ヶ谷周辺にお住まいになるお客様のご要望にお応えするため開設したパークサイド鎌ヶ谷線は、沿線の皆様に支えられ好評を博しています。

◀鎌ヶ谷総合病院の開業にあわせ開設した新鎌ヶ谷線は、新鎌ヶ谷駅や鎌ヶ谷警察署などの公共施設を結ぶ大変便利な路線となっています。

また、同社の鎌ヶ谷線・金杉台線・小室線・古和釜線においては、輸送の効率化を図るためダイヤ改正を行いました。

◀新京成バス３社では、電車もバスもご利用になれる「PASMO」を今年度中に導入するため、運賃箱の代替をするなど準備をすすめています。

なお、平成20年度中に予定しているICカード乗車券「PASMO」の導入につきましては、全車両の運賃箱を代替するなど諸準備をすすめております。

このほか、さらなる接遇サービスの向上を図るため、外部講師による研修を引き続き実施いたしましたほか、社外モニターのご意見を活かして新型マイクを導入し案内放送の充実を図るとともに、「京成グループBMK（ベストマナー向上）推進運動」に積極的に取り組みました。

営業面につきましては、旅客誘致並びに増収対策として、船橋新京成バス株式会社の金杉台線の停留所の名称を一部変更し広告媒体といたしましたのをはじめ、新京成グループバス３社において、高齢者のお客様の利用促進を図るため「プラチナパス」「プラチナ65」「プラチナ60」を、学生のお客様の利用促進を図るため「BUS通楽（つうがく）」をそれぞれ発売するとともに、京成グループのバス各社も利用できる70歳以上のお客様を対象とした「ダイヤモンドパス」及び小学生限定の「こどもんどころパス」を発売いたしました。このほか、船橋新京成バス株式会社及び習志野新京成バス株式会社においては、近距離のお客様の利用促進を図るため100円（ワンコイン）運賃を引き続き実施いたしました。

自動車事業では、▶増収対策の一環として、金杉台線の停留所の名称を「電話局前」から「トステムショールーム船橋」に変更するなど広告媒体化をすすめています。

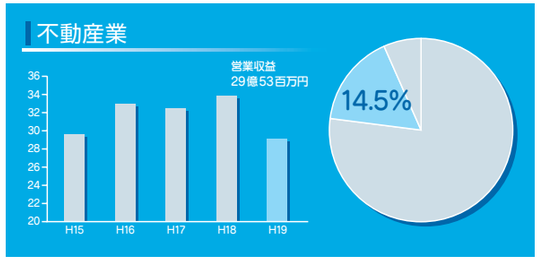
貸切輸送及び特定輸送においては、受注拡大に向けた取り組みとして、新たに小型貸切車両１両を増車いたしましたのをはじめ、船橋新京成バス株式会社では、「第24回全国都市緑化ふなばしフェア」の開催にあわせ、北習志野駅～アンデルセン公園間のシャトルバスの運行を船橋市から受注いたしましたほか、習志野新京成バス株式会社では企業の従業員輸送を新規受注するとともに、松戸新京成バス株式会社では学校法人和洋学園の通学輸送を追加受注し、安定収入の確保に努めました。

◀「第24回全国都市緑化ふなばしフェア」の開催期間中、船橋市から受注して運行したシャトルバスは、１日平均約1,200人のご利用をいただき、会場と駅を結ぶ公共交通機関として重要な役割を果たしました。

▲通学輸送では、和洋国府台女子中学校と松戸駅東口、北総線北国分駅との間でスクールバスを運行しておりますが、ご利用になる学生が増えたことに伴い、追加受注を承るなど、安定収入の確保に努めています。

以上の結果、営業収益は159億8,706万円、前期に比べ1.4％（２億2,755万円）の増収となりましたため、営業利益は12億7,235万円、前期に比べ6.6％（7,850万円）の増益となりました。

なお、船橋バス株式会社は、旅客の減少に伴う運輸収入の減少に歯止めがかからず、今後の事業継続が困難であるため、一般乗合旅客自動車運送事業を廃止し、船橋新京成バス株式会社が船橋バス株式会社の乗合路線を引き継ぐとともに、当社に船橋バス株式会社が所有する資産を集中させて効率的な運用を図ることを目的に、平成19年10月１日をもって船橋バス株式会社を当社に吸収合併いたしました。



北習志野駅前ビルの建設工事に着手

不動産分譲業では、千葉市緑区おゆみ野南土地の第２期分２区画を販売いたしましたほか、船橋市金堀町土地など21,821㎡を売却いたしました。なお、千葉市緑区おゆみ野南土地につきましては第１期分を含め35区画を完売いたしました。

不動産賃貸業では、改修工事をすすめておりました津田沼14番街ビルが、平成19年11月９日に関東では初めてとなる「ユニクロ」をキーテナントとした新しい商業施設「ミーナ津田沼」としてオープンいたしました。

◀昨年11月９日にオープンした「ミーナ津田沼」は、直結している新津田沼駅がJR津田沼駅への乗り換え駅であるなど立地のよさも手伝い、若い女性客や家族連れのお客様で大変な賑わいを見せています。

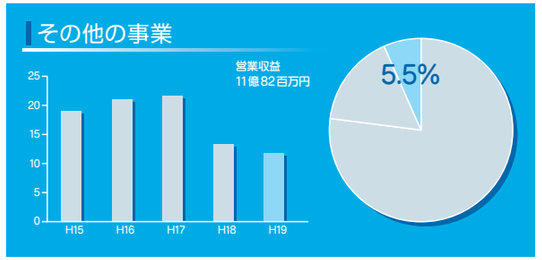
また、新規賃貸施設として平成20年３月１日に建設工事に着手いたしました北習志野駅前ビル（地上３階・地下１階）につきましては、平成20年度中の竣工を目途に工事をすすめております。

▲北習志野駅の改良工事にあわせて建設がすすむ北習志野駅前ビル（イメージ）は、書店やコンビニエンスストア、飲食店、診療所など幅広い分野の10テナントが入店を予定しています。同駅とは、２階部分でペデストリアンデッキと接続し、利便性に優れた街の新たなシンボルとなる予定です。

このほか、賃貸施設の保全工事として、津田沼12番街ビル（イトーヨーカドー津田沼店）、五香駅西口ビル及び常盤平駅ビルの設備更新工事などを行いました。

◀イトーヨーカドー津田沼店の地下２階に設置している冷却水供給装置「ターボ冷凍機」を更新しました。

以上の結果、営業収益は分譲土地の販売が減少いたしましたこともあり29億5,331万円、前期に比べ12.5％（４億2,331万円）の減収、営業利益は11億3,180万円、前期に比べ10.4％（１億3,086万円）の減益となりました。



「PASMO」が使える自販機を設置

その他の事業である駅売店業につきましては、パスネット販売の廃止及び新聞・雑誌販売の減少傾向など、厳しい経営環境の中にはありますが、ICカード乗車券「PASMO」が利用可能な飲料自動販売機及び携帯電話方式によるコインロッカー「クロスキューブ」を設置するなど増収に努めました。

▲今後も順次「PASMO」が使える自動販売機を設置していく予定です。

以上の結果、営業収益は新京成車輌工業株式会社が平成18年７月に連結子会社から除外されましたこともあり11億8,244万円、前期に比べ11.8％（１億5,744万円）の減収となりましたものの、営業利益は3,151万円、前期に比べ41.5％（924万円）の増益となりました。

◀携帯電話やICカードなどで施錠・解錠を行うクロスキューブは、一般的なコインロッカーとして使用できるほか、主に１人暮らしをしている方々が荷物などの受け渡しに利用できるなど日常生活をおくる上で、大変便利な施設です。

▌連結貸借対照表▐

（平成20年３月31日現在）

科目	金額	科目	金額
	千円		千円
資産の部		**負債の部**	
流動資産	**7,607,927**	**流動負債**	**18,828,798**
現金及び預金	2,738,643	買掛金	1,005,384
売掛金	741,718	短期借入金	4,415,570
たな卸資産	3,284,505	未払金	3,197,777
繰延税金資産	390,800	未払法人税等	433,849
その他	452,260	前受金	6,964,908
		賞与引当金	505,042
		役員賞与引当金	25,800
		その他	2,280,465
固定資産	**51,771,169**	**固定負債**	**18,992,206**
有形固定資産	**46,668,614**	長期借入金	13,630,506
建物及び構築物	20,653,503	退職給付引当金	2,802,384
機械装置及び運搬具	5,561,361	その他	2,559,315
土地	9,480,628	**負債合計**	**37,821,004** ❷
建設仮勘定	9,590,724		
その他	1,382,395	**純資産の部**	
		株主資本	**20,391,332**
無形固定資産	**406,973**	資本金	5,935,940
その他	406,973	資本剰余金	4,774,959
		利益剰余金	9,712,282
投資その他の資産	**4,695,580**	自己株式	△31,849
投資有価証券	3,911,220	**評価・換算差額等**	**1,166,759**
繰延税金資産	208,999	その他有価証券評価差額金	1,166,759
その他	575,360	**純資産合計**	**21,558,092** ❸
❶ **資産合計**	**59,379,097**	**負債純資産合計**	**59,379,097**

㈱ １．記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。
２．有形固定資産の減価償却累計額　55,242,271千円
３．１株当たり純資産額　391円71銭

❶ 資産合計

投資有価証券や現金及び預金が減少いたしましたものの、有形固定資産等が増加したことから、前期末に比べ1.0％、6億15百万円増加いたしました。

❷ 負債合計

借入金が減少いたしましたものの、前受金や未払金が増加したことから、前期末に比べ1.9％、7億15百万円増加いたしました。

❸ 純資産合計

利益剰余金が増加いたしましたものの、その他有価証券評価差額金が減少したことから、前期末に比べ0.5％、1億円減少いたしました。

▌連結損益計算書▐

（平成19年４月１日から平成20年３月31日まで）

科目	金額 千円	金額 千円
営業収益		19,984,348 ④
営業費		
運輸業等営業費及び売上原価	16,276,754	
販売費及び一般管理費	1,237,915	17,514,669
営業利益		2,469,679 ⑤
営業外収益		
受取利息及び配当金	48,294	
持分法による投資利益	62,149	
その他	51,573	162,017
営業外費用		
支払利息	424,582	
その他	16,720	441,302
経常利益		2,190,394
特別利益		
工事負担金等受入額	246,313	246,313
特別損失		
固定資産圧縮損	246,313	
割増退職金等	27,747	274,060
税金等調整前当期純利益		2,162,647
法人税、住民税及び事業税	839,638	
法人税等調整額	277,930	1,117,569
当期純利益		1,045,077 ⑥

㈱　１．記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。
　　２．１株当たり当期純利益　　18円99銭

④ 営業収益

鉄道事業における輸送人員の増加により、運輸業は増加いたしましたものの、不動産業において分譲土地の販売が減少したことやその他の事業において平成18年7月に新京成車輌工業株式会社が連結子会社から除外されたことなどから前期に比べ1.3%、2億61百万円減少いたしました。

⑤ 営業利益

運輸業のICカード乗車券「PASMO」関連の投資及び法人税法の改正に伴う減価償却費の増加等により前期に比べ1.6%、39百万円減少いたしました。

⑥ 当期純利益

税金費用が増加したこと等により前期に比べ19.1%、2億46百万円減少いたしました。

⑦ 現金及び現金同等物の期末残高

長期借入による収入の増加等があったものの、有形固定資産の取得による支出の増加や、仕入債務の減少等により前期末に比べ19.6%、6億67百万円減少いたしました。

▌連結株主資本等変動計算書▐

（平成19年４月１日から平成20年３月31日まで）

（単位：千円）

	株主資本					評価・換算差額等	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	
平成19年3月31日残高	5,935,940	4,775,250	8,997,431	△ 30,757	19,677,865	1,980,340	21,658,206
連結会計年度中の変動額							
剰余金の配当			△ 330,227		△ 330,227		△ 330,227
当期純利益			1,045,077		1,045,077		1,045,077
自己株式の取得				△ 4,711	△ 4,711		△ 4,711
自己株式の処分		△ 291		3,619	3,328		3,328
株主資本以外の項目の連結会計年度中の変動額（純額）						△ 813,580	△ 813,580
連結会計年度中の変動額合計	—	△ 291	714,850	△ 1,091	713,466	△ 813,580	△ 100,113
平成20年3月31日残高	5,935,940	4,774,959	9,712,282	△ 31,849	20,391,332	1,166,759	21,558,092

㈱　記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

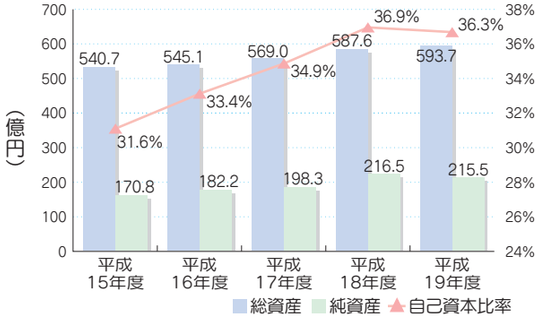
▌連結キャッシュ・フロー計算書の要旨▐

（平成19年４月１日から平成20年３月31日まで）

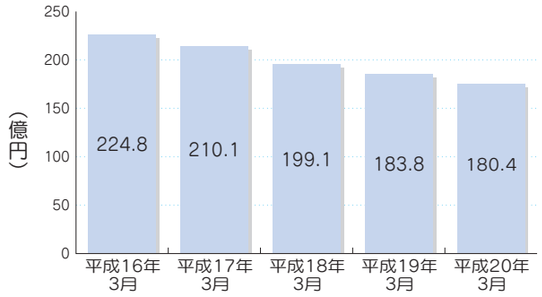
科目	金額 千円
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,485,063
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 4,484,682
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 667,981
現金及び現金同等物の増減額	△ 667,600
現金及び現金同等物の期首残高	3,406,243
⑦ 現金及び現金同等物の期末残高	2,738,643

㈱　記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

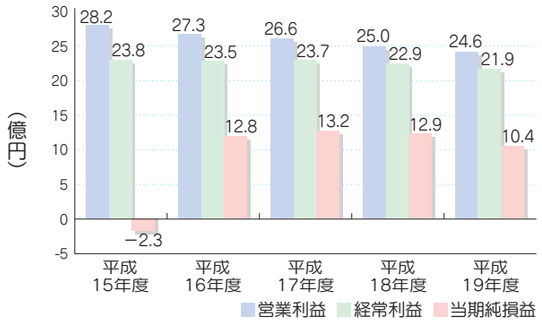
連結総資産・連結純資産・連結自己資本比率の推移



連結有利子負債残高の推移



連結営業利益・連結経常利益・連結当期純損益の推移



▌貸借対照表▐

（平成20年３月31日現在）

科目	金額	科目	金額
	千円		千円
資産の部		**負債の部**	
流動資産	**6,696,116**	**流動負債**	**19,091,857**
現金及び預金	1,993,112	短期借入金	4,415,570
未収運賃	649,979	未払金	3,711,800
未収金	312,348	未払費用	488,854
未収収益	38,850	未払消費税等	52,966
分譲土地建物	3,115,831	未払法人税等	373,200
貯蔵品	109,295	預り連絡運賃	728,318
前払費用	82,017	預り金	1,190,205
繰延税金資産	302,984	前受運賃	594,806
その他の流動資産	91,696	前受金	6,964,908
		前受収益	217,959
		賞与引当金	327,466
		役員賞与引当金	25,800
固定資産	**51,304,355**	**固定負債**	**18,899,258**
鉄道事業固定資産	18,467,811	長期借入金	13,630,506
不動産事業固定資産	18,295,739	長期未払金	113,800
各事業関連固定資産	712,019	退職給付引当金	2,710,036
建設仮勘定	9,590,724	預り保証金	2,444,915
投資その他の資産	4,238,058	**負債合計**	**37,991,115**
関係会社株式	2,420,470		
投資有価証券	1,081,888	**純資産の部**	
長期前払費用	61,729	**株主資本**	**18,846,192**
繰延税金資産	172,006	資本金	5,935,940
前払年金費用	452,102	資本剰余金	4,774,959
その他の投資等	49,861	資本準備金	4,773,405
		その他資本剰余金	1,553
		利益剰余金	8,167,142
		利益準備金	523,210
		その他利益剰余金	7,643,932
		別途積立金	2,480,500
		買換資産圧縮積立金	13,986
		繰越利益剰余金	5,149,445
		自己株式	△ 31,849
		評価・換算差額等	**1,163,162**
		その他有価証券評価差額金	1,163,162
		純資産合計	**20,009,355**
資産合計	**58,000,471**	**負債純資産合計**	**58,000,471**

㈜　１．記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。
　　２．有形固定資産の減価償却累計額　55,206,103千円
　　３．１株当たり純資産額　363円57銭

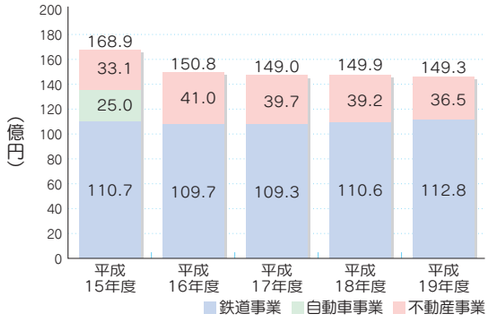
▌損益計算書▐

（平成19年４月１日から平成20年３月31日まで）

科目	金額	
	千円	千円
鉄道事業		
営業収益	11,288,583	
営業費	10,339,715	
営業利益		948,867
不動産事業		
営業収益	3,651,100	
営業費	2,472,358	
営業利益		1,178,741
全事業営業利益		**2,127,609**
営業外収益		
受取利息及び配当金	97,403	
その他の収益	75,756	173,159
営業外費用		
支払利息	429,068	
その他の費用	13,656	442,724
経常利益		**1,858,044**
特別利益		
工事負担金等受入額	246,313	
抱合せ株式消滅差益	104,661	350,975
特別損失		
固定資産圧縮損	246,313	246,313
税引前当期純利益		**1,962,706**
法人税、住民税及び事業税	673,000	
法人税等調整額	282,369	955,369
当期純利益		**1,007,336**

㈜　１．記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。
　　２．営業収益　14,939,684千円
　　３．１株当たり当期純利益　18円30銭

営業収益の推移



▌株主資本等変動計算書▐

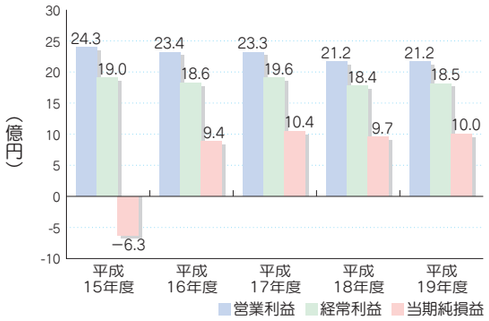
（平成19年４月１日から平成20年３月31日まで）

（単位：千円）

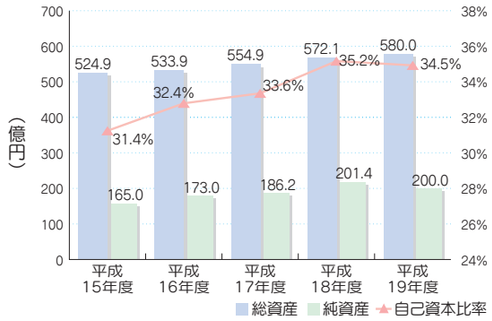
	株主資本											評価・換算差額等		
	資本金	資本剰余金			利益剰余金					自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	評価・換算差額等合計	純資産合計
		資本準備金	その他資本剰余金	資本剰余金合計	利益準備金	その他利益剰余金			利益剰余金合計					
						別途積立金	買換資産圧縮積立金	繰越利益剰余金						
前期末残高	5,935,940	4,773,405	1,844	4,775,250	523,210	2,480,500	15,144	4,471,178	7,490,032	△ 30,757	18,170,466	1,970,759	1,970,759	20,141,225
当期変動額														
買換資産圧縮積立金の取崩し							△ 1,157	1,157						
剰余金の配当								△ 330,227	△ 330,227		△ 330,227			△ 330,227
当期純利益								1,007,336	1,007,336		1,007,336			1,007,336
自己株式の取得										△ 4,711	△ 4,711			△ 4,711
自己株式の処分			△ 291	△ 291						3,619	3,328			3,328
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）												△ 807,596	△ 807,596	△ 807,596
当期変動額合計	—	—	△ 291	△ 291	—	—	△ 1,157	678,267	677,109	△ 1,091	675,726	△ 807,596	△ 807,596	△ 131,870
当期末残高	5,935,940	4,773,405	1,553	4,774,959	523,210	2,480,500	13,986	5,149,445	8,167,142	△ 31,849	18,846,192	1,163,162	1,163,162	20,009,355

（注）　記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

営業利益・経常利益・当期純損益の推移



総資産・純資産・自己資本比率の推移

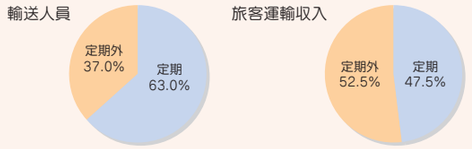


鉄道事業輸送実績

	平成19年度（第90期）	平成18年度（第89期）	前期比（%）
輸送人員（千人）	101,419	99,321	2.1
輸送人キロ（千人キロ）※	739,311	727,567	1.6
客車走行キロ（千キロ）	18,212	18,345	▲0.7
１人平均乗車キロ（キロ／人）	7.29	7.32	▲0.5
１人平均旅客運賃（円／人）	107.20	107.42	▲0.2
乗車効率（終日%）	30.8	30.0	2.7

※駅間通過人員×駅間キロ　（▲はマイナスを示す）

定期旅客と定期外旅客の割合（平成19年度）



北初富駅前と大町駅前に駐輪場をオープン

［エスケーサービス株式会社］

エスケーサービス株式会社では、北初富駅前に「北初富駅前第１・第２駐輪場」と北総線大町駅前に「大町駅前第１・第２駐輪場」をオープンいたしました。

両駐輪場共に一時利用と定期利用ができます。収容台数は北初富駐輪場が自転車500台、原付30台、大町駐輪場が自転車250台、原付50台です。

エスケーサービス株式会社は当社線沿線を中心に今回開設された駐輪場を含め19ヵ所の駐輪場を管理しております。通勤･通学･お買い物の際に自転車をご利用になる時は、エスケーサービス株式会社の駐輪場をご利用下さい。みなさまのご利用を心からお待ちいたしております。

北初富第１・第２駐輪場

大町駅前第１・第２駐輪場

（お問い合わせ）エスケーサービス株式会社　TEL 047-394-7355

地元小学生が鎌ケ谷市内の連続立体交差化工事の現場を見学

［連 立 工 事 部］

高架橋の大きさや眺望に感動

当社連立工事部では、平成20年４月16日、新鎌ヶ谷駅付近で連続立体交差化工事の現場見学会を開催いたしました。

この見学会は社団法人日本土木工業協会が平成14年から全国各地で実施している「100万人の市民現場見学会ーくらしを守る国づくり」の一環として行われているもので、地元住民の方々に土木事業への理解・関心を深めていただくために実施しているものです。

今回当社では連立事業を理解していただく一助として、見学会を開催いたしました。見学会には地元の鎌ケ谷小学校の児童約200名を招待し、連立工事の概要や目的の説明を受けた後、実際に高架橋の上を歩くなどの体験を行いました。参加した児童は、連立工事の高架橋の大きさやそこから見える眺望に感動していました。

高架橋の上で鎌ケ谷市役所をバックに記念撮影をする鎌ケ谷小学校の児童たち

会社概況

（平成20年３月31日現在）

新京成電鉄株式会社

設立	昭和21年10月23日
本社	千葉県鎌ケ谷市くぬぎ山四丁目１番12号 （〒273-0192） 電話 047-389-1111【総務人事部】
主な事業内容	鉄道による一般運輸業 土地建物の売買、仲介及び賃貸業
営業キロ	26.5km
車両数	196両
駅数	24駅
従業員数	493名

役員

（平成20年３月31日現在）

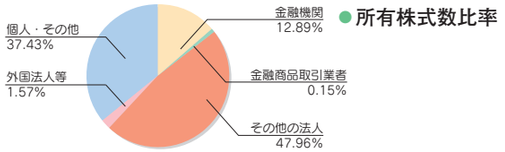
代表取締役会長	梅崎利秋
代表取締役社長	片岡遼一
常務取締役	石毛剛
常務取締役	飯田秀樹
常務取締役	米川公誠
常務取締役	岡岸聡
取締役	斉藤悦治
取締役	中村正雄
取締役	花田力
取締役	浅野勝雄
取締役	清水忠行
常勤監査役	武藤粛
監査役	井口瑛
監査役	笠井孝悦
監査役	飯島建一

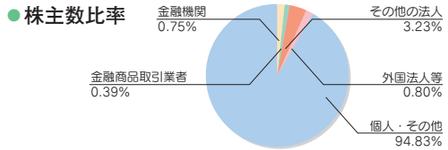
株式の状況

（平成20年３月31日現在）

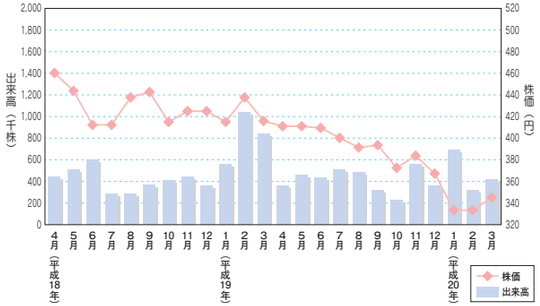
資本金	5,935,940,378円
発行可能株式総数	120,000,000株
発行済株式の総数	55,116,142株
株主数	3,867名
大株主	京成電鉄株式会社 京成開発株式会社 日本生命保険相互会社 帝都自動車交通株式会社 株式会社関鉄クリエイト

■所有者別株式分布状況

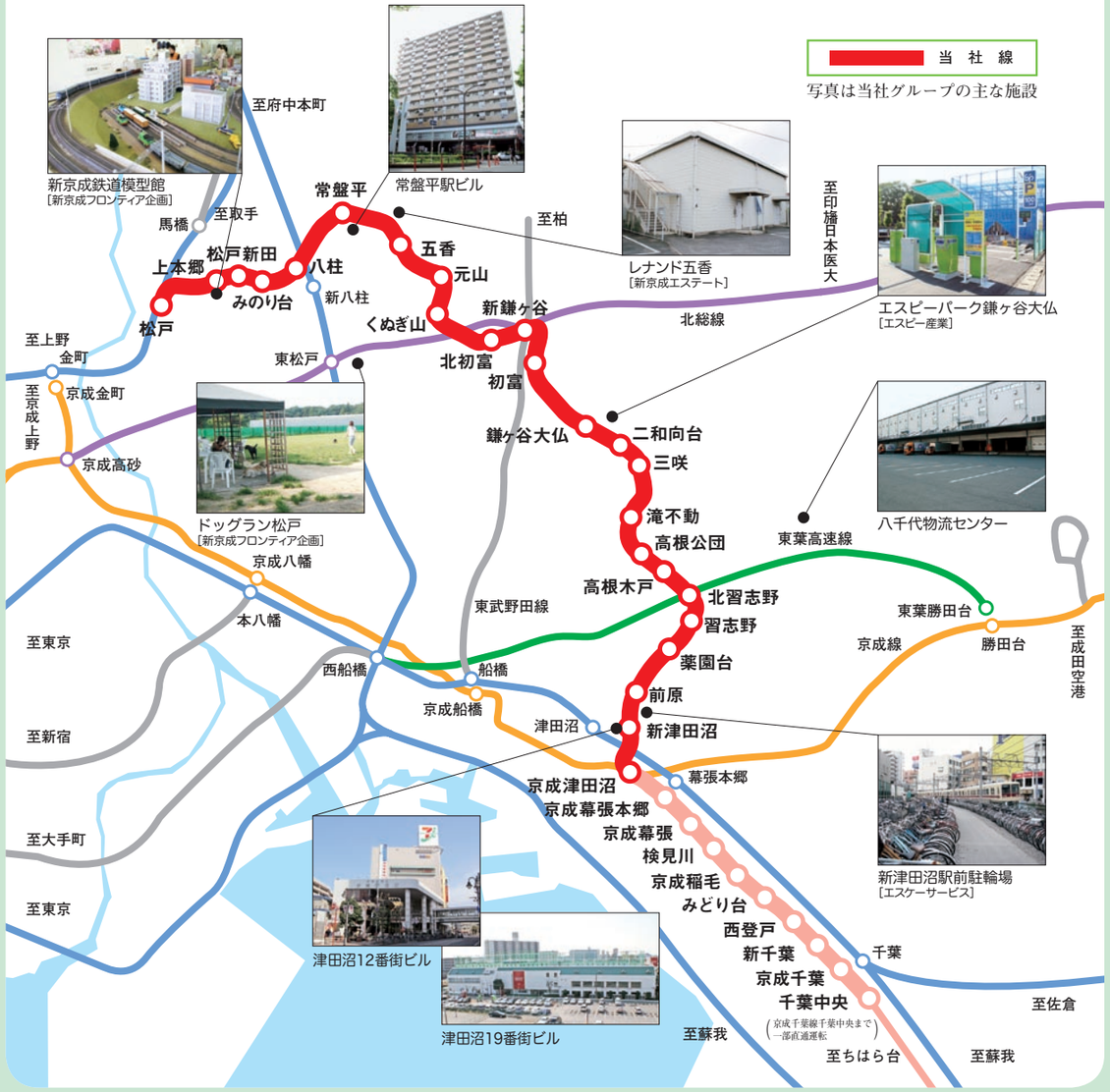




■株価（月終値）及び出来高の推移



営業路線図



株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	6月
同総会議決権行使株主確定日	3月31日
配当金受領株主確定日	期末配当　3月31日 中間配当　9月30日
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
同事務取扱場所	**東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部**
(郵便物送付・電話照会)	**〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 0120−232−711(通話料無料)**
同取次所	三菱UFJ信託銀行株式会社 全国各支店 野村證券株式会社 全国本支店
上場金融商品取引所	東京証券取引所 市場第一部 (証券コード9014)
公告の方法	日本経済新聞に掲載する

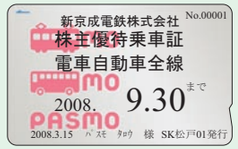
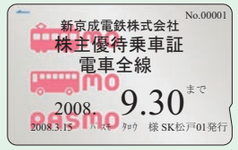
住所変更、単元未満株式の買取・買増請求、株券喪失登録、名義書換請求及び配当金振込指定・振込先変更等のお手続きの詳細につきましては三菱UFJ信託銀行(0120−232−711)へお問い合わせ下さい。
また、上記各種の手続書類のご請求は下記のフリーダイヤル・ホームページで24時間受付しております。

フリーダイヤル
0120−244−479(通話料無料)
ホームページアドレス
http://www.tr.mufg.jp/daikou/
なお、証券保管振替制度をご利用の株主様は、お取引口座のある証券会社へお問い合わせ下さい。

株主の皆様へのお知らせ

株主優待乗車証(定期券式)PASMO移し替えサービスを開始

当社では、今回送付分から株主優待乗車証(定期券式のみ)をPASMOへ移し替えるサービスを開始いたしました。
申請に必要な書類等は、移し替え申請書・磁気券の株主優待乗車証・申請者様が本人であることが確認できる公的証明書(運転免許証・保険証など)です。
ご希望される株主様は、乗車証送付時に同封させていただきました注意事項を十分ご確認の上、お申し出ください。

移し替えができる場所　松戸駅・八柱駅・北習志野駅・新津田沼駅の定期券発売所
取扱時間　7：00〜20：00

なお、既に鉄道定期券が入っているPASMO、小児用PASMO、Suicaに移し替えることはできません。